はじめに

この『未来を拓くーようこそ立命館へー』は、2021年度に新たに立命館大学に入学される皆さんを対象として、本学の基本的な理念と本学における学びの特徴を紹介するWeb冊子です。

第1章のテーマは、「立命館憲章」です。立命館憲章は、附属小学校・中学校・高等学校や立命館アジア太平洋大学をあわせた立命館学園全体の最も基本的な理念を定めた文書です。第1章では、この憲章の解説という形をとって、立命館大学がどのようにかたちづくられたか、立命館大学の理念と組織はどのように発展してきたか、立命館大学はいまどこに向かっているか、を述べています。私たちは、建学の精神である「自由と清新」と教学理念である「平和と民主主義」を、それらの歴史的背景も含めて理解することは、本学の教職員だけでなく、本学で学ぶ皆さんにとっても大切であると考えています。

第2章のテーマは、「学びの立命館モデル」です。学びの立命館モデルは、皆さんの一人一人が主体的な学習者としての学びのスタイルを確立し、相互に学び合い支え合う「学びのコミュニティ」を形成していくことを支援するさまざまな制度やしきみからなっています。章の冒頭に学びの立命館モデルのイメージを示すイラストがありますので、まずはそちらをご覧ください。イラストに続くページには、個々の項目についての簡単な説明と、より詳しい説明がある学内Webサイトへのリンクをつけています。説明の内容に興味を感じた場合には、ぜひリンク先の情報も確認することをお勧めします。

『未来を拓くーようこそ立命館へー』は昨年度まで、170ページをこえる紙の冊子として発行されてきました。今年度から、新入生の皆さんにとってより読みやすいものとするために、内容を全面的に改定するとともに、紙での刊行からWeb冊子での刊行に切り替えました。同時に、改訂に伴い分量が大幅に削減されたことを考慮し、旧版(2020年度版)の『未来を拓く』も引き続き皆さんにご覧頂けるよう、リンクを残しています。旧版には、学部ごとの学びの紹介や、青年期の自己形成と他者理解など今年度版にはない記事も多数ありますので、あわせてご参照下さい。

2020年初めからの新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大は、大学での学びに大きな影響を及ぼしました。2020年度の春学期には、全国的な緊急事態宣言の発令を受けて授業のほとんどがオンラインで行われました。秋学期からは対面授業が部分的に再開したものの、留学を含めたキャンパス外での学びの多くが困難となりました。コロナ禍の影響は今後もかなりの期間にわたって持続すると考えられます。コロナ禍への対応は、授業や学習の仕方に、とりわけICTの積極的な活用という面がかつてない変化をもたらしつつあります。この面で立命館大学が行っている対応や支援については、スタートアップサイトをご参照下さい。

本冊子は、コロナ禍以前の状況をもとに書かれたものではありませんが、主体的な学びの姿勢を確立することや、学生が学びあい支え合う「学びのコミュニティ」を形成することは、コロナ禍の状況においては、むしろいっそう重要になっています。本冊子が、これからの立命館大学での学びと成長について皆さんがそれぞれのビジョンを持ち、主体的な学び、ピアでの学びへの第一歩を踏み出すことに少しでも役立つことを願っています。

編集委員会